

記入例

国際大会派遣に伴う特別措置申請書

学校登録の都道府県高体連水泳専門部長
栃木県 高等学校体育連盟水泳専門部部長 様
埼玉県 高等学校体育連盟会長 様
群馬県 高等学校体育連盟水泳専門部部長 様
全国高等学校総合体育大会水泳競技大会
開催地高等学校体育連盟会長 様

地域高体連事務局のある
都道府県高体連会長
地域大会開催地高体連部長
全国大会を開催する都道府県高体連会長

日水連登録番号

--	--	--	--	--	--	--

フリガナ
生徒氏名 _____ (年) 生年月日 _____ 年 月 日生

上記生徒は日本水泳連盟より、(東京オリンピック) 水泳競技大会の選手として派遣される事になりました。このため (栃木県 高校水泳競技大会・関東 大会) への参加が出来ません。

都道府県大会不参加の場合

地域大会不参加の場合

つきましては、記載しました下記事項をご参照の上 (関東 大会・全国大会) への上記生徒の参加に関しまして、格別のご配慮をお願い致します。

以上

年 月 日

学校名

学校長

顧問教諭

公印

印

*国際大会の場所および派遣期間 (特別措置の必要な大会開催期間と重複していること)

大会名 (_____)
年 月 日 ~ 年 月 日 場所 (_____)
付随する大会
年 月 日 ~ 年 月 日 場所 (_____)
強化合宿
年 月 日 ~ 年 月 日 場所 (_____)

*特別措置の対象となる大会での参加予定種目および公認記録

(選考の対象となった大会の記録)

種目 (_____ m) ・本年度公認記録 _____ 分 _____ 秒
種目 (_____ m) ・本年度公認記録 _____ 分 _____ 秒

*添付資料 …… (公財) 日本水泳連盟からの通知 (学校受付されたもの)

【注意！】

1 インターハイへの特別措置について

※ 国際大会出場選手でインターハイに参加する場合、必ず一校一種目三名の枠に登録しておくこと。

(1) 国際大会派遣のためブロック大会は不参加でインターハイに参加する場合、当該校顧問は都道府県大会申込時に「特別措置申請書」に（公財）日本水泳連盟からの「国際大会派遣文書」を添えて、都道府県水泳専門部委員長に4部提出する。

(2) 都道府県委員長は提出された特別措置等の文書を、下記提出先に提出する。

(ア) 学校登録の各都道府県高等学校体育連盟水泳専門部長

(イ) 地域高等学校体育連盟事務局のある都道府県高等学校体育連盟会長

(ウ) 地域大会開催都道府県高等学校体育連盟水泳専門部長

(エ) 全国大会開催地都道府県高等学校体育連盟会長

(※ (エ) については書類送付先を全国大会開催地実行委員会とする。
書類の行き来をなくすため)

(3) 特別措置によって都道府県大会・ブロック大会に不参加となる場合でも、参加料は発生する。

2 インターハイは辞退するが、リレーメンバーとしてインターハイの資格を得た場合。 (詳しくはインターハイ申込書類「様式A 記入上の注意」参照。)

(1) インターハイを辞退する選手については「A 学校長認知書」にはリレーメンバーとして記載し、該当選手には「特」と記入する。

(2) 「特」の選手には、参加料は発生しない。

【補足】インターハイプロ編会議の時に、「A 学校長認知書」に辞退者の名前があると確認しやすいための措置。また、万が一、（公財）日本水泳連盟が派遣を取りやめた時に、インターハイへの出場手続きを行うため。

3 ブロック大会への特別措置について

(1) 国際大会派遣等のため都道府県大会は不参加でブロック大会に参加する場合、当該校顧問は、都道府県大会申込時に「特別措置申請書」を都道府県水泳専門部委員長に3部提出する。

(2) 都道府県委員長は、提出された特別措置申請書を上記(ア)・(イ)・(ウ)に提出する。 (イ)・(ウ)はブロック大会申込時にそれぞれに提出する。

【確認事項】

平成30年10月の（公財）全国高体連水泳専門部常任委員会と、その後の（公財）日本水泳連盟競技委員会で、「リレー競技でインターハイ出場を目指している学校は、国際大会代表選手を含めたメンバーで、都道府県予選大会・ブロック大会のどちらかにエントリーするように指導していく。」事を確認致しました。ご協力をお願い致します。